



INTERPOL

**FIFA /INTERPOL Training, Education and
Prevention Initiative**

Integrity in Sport Workshop

Tokyo, Japan

‘Tackling Match Fixing and Corruption in Football’

8-9 July 2013

SUMMARY

INTEGRITY IN SPORT

FIFA/INTERPOL 研修、教育、および予防施策

スポーツにおけるインテグリティ ワークショップ

東京(日本)

「サッカーにおける八百長および汚職問題に対処するための取り組み」

2013年7月8-9日

サマリー(要旨)

ワークショップ 概要:

INTERPOL 主催の当ワークショップは、スポーツにおける不正防止のための FIFA/INTERPOL イニシアチブの枠組みの中で、日本サッカー協会(JFA)およびINTERPOL 東京支局とのパートナーシップ体制のもと、現代のサッカー界における八百長問題やその脅威に対する注意を喚起するため、また「良い取り組み」や「改善の余地のある分野」を理解するために、開催された。

INTERPOL は、選手、審判、くじ運営団体/規制当局、そして法執行機関からの参加者を一同に集めて、サッカーにおける不正行為、犯罪者が使う戦略、そしてそれらを認識し、拒絶し、通報する方法について、個人レベルでの認識と理解を深める目的で、トレーニングワークショップを、選定した国々で開催している。

目的:

本ワークショップの目的は以下のとおり:

- 国内レベルにおいて、八百長、違法賭博から生じる世界的な脅威とその影響に関する知識と理解を深めること
- サッカーにおける八百長や不正を防止するための方法や最近の良い取り組みを理解すること
- サッカーに関連する、世界的、地域的、国内的な様々な団体に対し、協力体制、定期的な情報共有、そして、八百長防止のための対策において、より効果的に協働するために動機づけをすること

参加者:

本ワークショップが有益となり、さらに、受講後にその価値が増すような参加者の選定につき、JFA に一任された。サッカー協会、プロサッカー選手会、政府、法執行機関(*警察)、賭博事業者(*toto)等から 54 人の参加者と 12 人のオブザーバーが参加した。

INTERPOL

プログラム:

本ワークショップは、INTERPOL のスポーツにおけるインテグリティ運営グループ代表であるジョン・アボット氏から、ワークショップの目的と議論すべき問題についての紹介によって幕を開けた。JFA 専務理事の田中道博氏、INTERPOL 理事兼副総裁(アジア担当)の河合信之氏、そして FIFA セキュリティ担当ダイレクターのラルフ・ムシュケ氏から挨拶が述べられた。

オープニングセッションは、INTERPOL 八百長対策タスクフォース、プロジェクトマネージャーのジョー・チャウ氏により、現代の国際的な八百長事例と、八百長と犯罪組織との関係の概要について説明がなされた。

引き続き、参加型エクササイズ(SWOT 分析)がなされ、参加者は「敵の立場で考える」ことを求められ、サッカーにおける八百長に関わるプロの犯罪者の強みと弱みを理解した。このエクササイズの目的は、八百長がどのように行われているかの理解を深めることであり、その防止および調査をより効果的に行うためには何が必要かを理解するために役立つものであった。

初日の他のセッションとしては、ヨナス・プフェンドラー氏より、合法的および違法なスポーツ賭博市場における最新の情報の紹介、短い実用的なエクササイズや、日本のリーグの監視にも採用されている FIFA 早期警告システム(EWS)の説明がなされた。また JFA の播磨謙悟氏より、日本のスポーツにおける八百長、法律・規則などに関する現在の日本の状況、さらに、将来的にサッカー界での八百長を防止するために考慮すべき点について提案がなされた。

ワークショップ 2 日目は、1 日目の要点のおさらいから始まり、続いて、参加者は様々な設定された八百長の状況について、次に何か起こるか意見を述べる参加型エクササイズを行った。これらのエクササイズは、将来的な八百長防止のために、サッカー界の全てのステークホルダーが事前に準備しておくことが必要であることを理解させる目的であった。

次に、スポーツ法専門法律家のアニャ・ベルニンガー氏が、グッドガバナンスの重要性についてのプレゼンテーションを行い、続いて、オーストラリア政府のスポーツインテグリティ部門アシスタントセクレタリーのナターシャ・コール氏により、スポーツにおける八百長と戦うための「良い取り組み」の事例と国内レベルにおけるその実行が紹介された。続いて、FIFA セキュリティ部門のフランシスカ・ホベルグ氏より、サッカーを守り、スポーツにおける不正を防止するための FIFA インテグリティ・イニシアチブの様々な取り組みについてプレゼンテーションが行われた。さらにジョン・アボット氏より、これら国際的スポーツ専門家により説明された八百長と戦うための計画立案の際に考慮すべき重要点の概要が説明された。

ワークショップの最終セッションは、グループでの「ブレインストーミング」であり、参加者はワークショップで得た知識を活用して、日本における効果的な不正防止プログラムを作成し持続するための方法について理解を深めた。

INTERPOL

全てのプレゼンテーションは、INTERPOL のスポーツにおけるインテグリティ部門により開発された、「協力体制」「情報」「調整」「予防」「先を見越した積極的姿勢」に集約されたスポーツにおける八百長と戦うための枠組みの重要性を強調するものであった。このイニシアチブは INTERPOL のスポーツにおけるインテグリティ部門が世界中の最近の「良い取り組み」を分析した結果である。

次のステップ:

ワークショップの最後のセッションでは、日本での八百長のリスクを最小化するために、参加者自身が採れる、採るべき「次のステップ」にはどのようなものがあるのかについて、グループディスカッションが行われた。その議論の中で出された「成果」は以下の箇条書きの通りとなる。日本サッカー協会には、これらの目標と目的を実現するためにどの程度のアクションが必要となるかを検討し、報告することが期待される。その目的のため、INTERPOL のスポーツインテグリティユニットは、このワークショップがどのような影響をもたらしたか、そして、貴殿の組織における八百長に対する対応がどのように変わったのか、に関してフィードバックを得るため、今後 9~12 ヶ月のうちに、皆さまに対するフォローアップを実施しようとする。このフィードバックで得られた情報によって、INTERPOL および FIFA は、我々が皆さまのことをさらにサポートできる領域が何であるか特定することができるだろう。さらに、皆さまからのフィードバックは、我々がさらに発展的なトレーニング・教育・防止のプログラムをつくり上げるためにも欠くことができないものとなるだろう。

次のステップ(詳細):

- 法律、規則、コンプライアンスなどに関する整備と検証
- 意識を向上させること(「許容しうる行為」に関してを若年期から教育する)
- 防止策を確立すること —学校における教育やトレーニング、さらには、その他当事者、特に選手、審判員、指導者などへの教育やトレーニング、などを含むものとする。その際、「認識すること、抵抗すること、通報すること」を強調するものとする—
- 選手、審判員、指導者にとっての「リスク」、職業上のあるいは個人としての起こりうる「結末」を顕在化すること
- より効果的な情報の収集および共有のメカニズムの方法を認識すること。その分析および調整のための管理システムの構築含む(犯罪の手口を認識するための八百長事件に対する調査)
- 八百長や汚職に関する懸念や疑惑を通報するための窓口の設置
- 全ステークホルダーの「調整・協調」を高めること —関連する全てのステークホルダー(サッカー界、法執行機関(警察)、行政、賭博産業など)の間における協働体制を確立することによって為される—
- 八百長が起こった場合を想定した「手順書」を作成すること
- 「行動規範」を理解している旨の書面への署名を選手に義務付けることを含めた、サッカー選手に対する公認
- 汚職や八百長に関するトレーニングの受講、および、機関への通報を義務化するような「標準条項」を選手契約書やその他の契約書に含めることができるかどうか、可能性を探る

INTERPOL

こと

- クラブライセンスに、八百長の防止とこれを通報するための必要要件と責任事項に関する条項を含めることができるかどうか、可能性を探ること
- 八百長と汚職を防止するための最新の好事例(良い取り組み)や必要要件が反映されていることを確実にするために、「行動規範」を見直すこと
- 日本のサッカー界がインテグリティプランを策定し他競技の手本となること

進行役(アボット氏)からのコメント:

当該ワークショップの実施に関わった進行役(アボット氏)およびスタッフは、出席者が示した、サッカーにおける八百長の脅威と戦うための「熱意」と「献身」に感銘を受けた。ワークショップでは、八百長が世界的脅威であり、特にプロの犯罪者(組織犯罪者)にとって魅力的であるという点に留意しながら、八百長がどのようにして起こるのかについて議論がなされた。そして、出席者は、八百長を防ぎ、調査するために採るべき戦略のキーとなる要素、実際の世界における「良い取り組み」について考え、日本において何が起こりうるか認識することにより、以下のとおり、本サマリーの下記セクションに記した通りに結論づけた。

日本では、過去に一件も八百長事件が報告あるいは検知されていないという事実、JFAがEWSの監視システムを用いていること、そして、選手およびクラブに対するトレーニングがいくらか存在していること、などは勇気づけるものであった。しかしながら、会議にて報告されたように、八百長の脅威は世界的脅威であること、そして、(EWSシステムによって監視されている220社の賭博事業者のうち)、170社もの賭博事業者がJリーグの試合に関する賭けを提供しているという事実は、日本においてもこのリスクが実在することを表している。日本のシーズンがヨーロッパの各リーグと比較して異なる時期に起こることから、日本のサッカーに関する賭けは、世界中の多くのギャンブラーにとって魅力的なのかもしれない。それは、同様に、犯罪者にとっても魅力的なのかもしれない。

そして、サッカーに関わる様々なステークホルダー間の(つまり、法執行機関(*注:警察)、合法の賭博組織(*注:"toto")、そして、JFA・Jリーグ・クラブ・選手協会そして審判協会を含む「伝統的なサッカー界」間の)協力関係があまり進んでいないことが報告された。全てのステークホルダーを巻き込んだ「協力関係(パートナーシップ)」というアプローチが、さらなる「調整」と「予防」の活動を発展させる方法として考えられると考える。これをどのように進めるべきかの一つの例として、オーストラリアのモデルが議論された(それは、全ての競技に関するアプローチであったが)。

そして、八百長に関する情報を、より効果的に、収集し、分析し、共有し、そして活用する必要性があるように見受けられた。JFA内にこの分野をリードする人物(欧州において「インテグリティオフィサー」と呼ばれる人物)を具体的に任命することが有益であろう。

「予防」については、(日本には)適切な法制度が存在するものの、それが十分ではない可能性があることが報告された。クラブと新人選手に対するいくつかのトレーニングが為されているが、これは任

INTERPOL

意であり、サッカー界における全てのステークホルダーに対してまだ十分に調整されていないように見受けられた。マッチフィクサー(八百長仕掛け人)にとって、最大のターゲットは、選手(特に若い選手)と審判、およびそのアシスタントである。ワークショップでは、Eラーニングと対面式トレーニングの双方が必要であり、それは選手や審判その他の契約書の項目と関連付けられるべき、との意見が出された。また、八百長に関連する事項を通報する「通報窓口」が存在するが、一度も使われたことがないと述べられた。これは、良い兆候なのかもしれないが、周知不足のためかもしれない、参加者の多くに知られていなかった。

参加者は、日本においてよりサッカーを守るための施策の数々を挙げたが、それは印象的なものであった。まさに、これこそワークショップにおける良い「学び」を象徴するものであった。そして、JFA のリーダーシップのもと、これら事項が前進されることが望まれている。

我々は全ての参加者に対して、そして特に JFA に対して、そのワークショップに対する素晴らしい献身について感謝したい。そして、我々は、いつでも、さらなる援助を惜しまない。

参加者のフィードバック:

参加者には本ワークショップの各セッションについてレーティング(格付け)を行う評価シートを記入するよう求められた。

総括すると、参加者は本ワークショップのセッションについて肯定的なフィードバックを行った。60%の参加者がこのワークショップについて「非常に良い(Excellent)」と回答し、40%近くが「かなり良い(Very Good)」と答えた。評価シートに記入された参加者のコメントは、全てのセッションが有用かつ有益であり、また参加者の該当の問題に対する理解を深めるものであったことを示している。コメントには、サッカー界および法執行機関を含む、異なるステークホルダー同士の協力体制が、八百長防止のための包括的なアプローチを発展・実施するにあたって極めて重要となるということが記されていた。

連絡先:

INTERPOL のスポーツインテグリティユニットは、スポーツの汚職と戦うための皆さまの取り組みの発展を引き続き援助して参ります。本ワークショップにおいて議論された戦略を実施するにあたって得られた進展、またはその他皆様がお持ちの問題、疑問、懸念についてお聞かせください。また、我々のプログラムの詳細な情報については、当方のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.interpol.int/Crime-areas/Corruption/Integrity-in-Sport>

また、以下の E メールまたはツイッターにてご連絡いただいても結構です。

(メールアドレス) integrityinsports@interpol.int

(ツイッターID) @INTERPOL_SPORT

以上